



TITLE:

米國の對玖馬投資とその影響

AUTHOR(S):

長田, 三郎

CITATION:

長田, 三郎. 米國の對玖馬投資とその影響. 經濟論叢 1934, 38(1): 217-243

ISSUE DATE:

1934-01-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/130399>

RIGHT:

山本博士
還曆祝賀

記念論文集

京都帝國大學經濟學會

昭和九年一月一日發行

經濟論叢

第三十八卷第一號

(通卷第二百二十三號。禁轉載)

奉
呈

山
本
美
越
乃
先
生

執
筆
者
一
同

目次

尙書の虞夏書に見はれたる經濟思想	法學博士 田島 錦治 一
酒の專賣に就きて	法學博士 神戸 正雄 四
マールクスの認識論原理	文學博士 米田庄太郎 四
植民の世界史的意義	文學博士 高田 保馬 五
農業生産に於ける水平的分化と垂直的分化	經濟學士 八木芳之助 八
我國工業に於ける小企業の殘存に關する一研究	經濟學士 大塚 一朗 一七
資本蓄積率の差異と固定資本	經濟學士 柴田 敬 二六
中央銀行兌換準備檢討	經濟學士 松岡 孝兒 二六
貨幣需要と貨幣の流通速度	經濟學士 中谷 實 二六
植民地時代米國の土地保有制度	經濟學士 堀江 保藏 二九
米國の對玖馬投資とその影響	經濟學士 長田 三郎 二七

免稅點以下の小額所得者

經營學の基礎概念たる資本、企業及經營

世界科學に就て

漁村更生策に於ける問題

人口粗密の原因觀

徳川時代における植民的思想

ヘーゲル市民社會論と經濟學

恐慌と蓄積と植民

北海道鯨漁業に現存の漁場貸借關係

我國に於ける植民政策學の發達

クレルウキアに就いて

山本美越乃博士年譜及著書論文目錄

經濟學博士 汐見 三郎 二四

經濟學博士 小島昌太郎 二六〇

經濟學博士 作田 莊一 二七六

經濟學士 蜷川 虎三 二九五

法學博士 財部 靜治 三二五

經濟學博士 本庄榮治郎 三三九

經濟學博士 石川 興二 三四九

經濟學博士 谷口 吉彦 三六九

經濟學士 岡本 清造 三五四

經濟學士 金持 一郎 四二七

農學士 若木 禮 四四〇

經濟學士 高木 眞助 四七七

米國の對玖馬投資とその影響

長 田 三 郎

一、緒言

二、米國の對玖馬投資の發展

- (イ) 一八八〇年迄 (ロ) 歐洲大戰勃發迄 (ハ) 歐洲大戰以後

三、玖馬の經濟上に及ぼせし影響

- (イ) 近代的無產階級の増大 (ロ) 土着資本家の擡頭 (ハ) 經濟的植民地化

四、世界恐慌と玖馬

一、緒 言

滿洲問題に對する批評が特に米人間に於て下火とならんとせる昨年七月、米國にとつて利害關係の大なる玖馬に突如として動亂生じ、米國朝野の視聽は一時それへと注がれた觀があつた。右擾亂並びにその後の動搖の原因としては、同嶋の經濟恐慌・大統領の暴力政治・政府財政の紊亂・憲法改正問題・米國の内政干涉・罷業者及びコミニストの行動等々の因子がそれぞれ擧げられてはゐるが、これ等はいづれも騒亂の導因或は表面的原因にして、根柢的主要因は寧ろ他に求むべく、即ち過去四十年來米國の同嶋に輸出せる資本が同嶋の經濟及び政治の中に釀成せし矛盾に在ると

1) エコノミスト、十月一日號；外交時報、十月十五日；國際法外交雜誌、十一月一日；國際事情、十月十一日；國際評論、十月、十一月；Foreign Affairs, 10月；The Nation, 8月23日；Current History, 10月；l'Europe Nouvelle, 9月30日。

思はれる。依つて以下我々は玖馬に於て米國の投資が如何に發展し、如何なる影響を同嶋の經濟上及び政治上に及ぼしたかを考察し、以て玖馬の現狀並びに將來を判斷すべき一資料たらしめた。この問題を滿洲問題と對比し、尙又ラテン・アメリカ一般の問題とも關聯せしめて考察する時は興味更に多からんも今はそれ等に觸れない。

二、米國の對玖馬投資の發展

先づ投資額の變遷を概觀する爲に、從來の推定額を列記すれば次の如し。(單位百萬弗)²⁾

年次	投資現在 高推定	推定者名
1894年以前	50	ブラウネル
1896年	30—50	クリーヴランド
	35—40	ビエーライ
	50	オルネイ
1898	50	マネイ
1900	50	ペーコン
1902	80	ブラウネル及びチャップマン
1908	197	ブラウネル
	200	ジエンクス
1909	100	グオーガソン
	130	スピアー
	141	玖馬商務省
	200	スミス及びケサーダ
1911	205	ロツヂヤース
1912	220	オスボーン
1913	220	ウインクラース
1916	400	インゴールス
1920	525	同
1923	2,000	シュタインハルト
1924	1,250	合衆國商務省
	1,360	ダソン
1925	1,386	合衆國商務省
1927	1,495	在玖米國商業會議所
1928	1,325	ノルマソン
	1,400	マツケイ會社
	1,505	在玖米國商業會議所
1929	1,526	ウインクラース
1930	1,067	合衆國商務省
1931	1,139	同
1932	1,225—1,500	ハーリング

2) Ann. Amer. Acad., 1896, 1898; U. S. Dept. Comm., A New Estimate of American Investment Abroad, 1931; M. Winkler, Investments of U. S. Capital in Latin America, 1929; R. Dunn, American Foreign Investments, 1926; L. Jenks, Our Cuban Colony, 1928; Comm. d. Fin. Chron. aug 29, 1931; Current History, April, 1929; The Nation, Aug. 23, 1933. 合衆國商務省及びインゴールスの數字は公債を含まず。

玖馬に於ける米國の投資は、根本的には一方に玖馬の資源開發に要する資本の不足と他方に米國の原料確保の必要及び資本の豊富に基づき、——（その理由に關する考察は暫らく措く）——更に、米國の景氣變動と玖馬の政治情勢といふ二大因子の作用に依つて増減した。次に、かゝる投資高の變遷並びに投資内容の變遷を、投資上の各時期の主たる特徴を基準とし三つの時期區劃の下に概觀しよう。

(1) 一八八〇年迄

十九世紀の八十年前後より米西戰爭にかけて起つた砂糖業の「産業革命」に到る迄は、米國の玖馬投資は、第一に、米國人が少額の資本を携へて自ら彼の地に移住し、自己又は奴隸の勞働力を用ひて珈琲・砂糖・ココア・煙草等の栽培、家畜の飼養に従事すること、第二に米國の食料品商・銀行家・船主が玖馬の諸港に出張所を置き、栽培者に對する貨幣の前貸を行ひしこと、といふ二形態に於て行はれた³⁾。かゝる投資は、個人的且つ散發的ではあつたが、かなり早くより行はれしものの如く、既に三十年代には、米國人が數百エーカーの珈琲栽培地を所有し奴隸を用ひて經營せし事實がある⁴⁾。又商人の貨幣前貸も一八九六年に一千萬弗乃至一千五百萬弗といふ相當大なる金額に達してゐる⁵⁾。

併しこの期の投資は、右の如く農業的或は商業的性質を脱し得なかつた。何となれば、玖馬唯一の工業たる砂糖業が未だ技術的及び經濟的に幼稚で、工業資本の輸入に適せざりしが故である。當時の製糖法は、牛を使用する簡單な磨碎機で糖液を搾り出し、これを蓋の無い容器に入れ

3) L. Jenks, Our Cuban Colony, 1928, pp. 33, 34.

4) Ibid., p. 23.

5) A. Hershey, The Recognition of Cuban Belligerency, Ann. Amer. Acad. May, 1896, p. 81.

て煮沸し、次いで容器の底に穴をあけて糖蜜を滴り落させるといふ素朴な方法であつた。⁶⁾ 經濟的にも、工場所有者は彼の所得の全部を費消するを常とし、その一部を事業の改良及び擴張のための準備金とするが如きことは殆んどなかつた。

(口) 歐洲大戰勃發迄

然るに一八八〇年頃に始まれる砂糖業の産業革命は、かゝる状態を一變せしめた。持續的な世界不況、西班牙との戦争による荒廢、歐洲に於ける甜菜糖生産の發達、布哇の砂糖業の發展等々の原因に依り、玖馬の砂糖業は不況の底に沈んだ。糖價の下落に堪へ得るが爲には、低廉且つ能率的に生産する方法を講ぜねばならぬ。かくて、畜力の代りに蒸氣力に依る磨碎機が採用せられ、灌漑排水設備を施せる廣大な栽培地の生産物が長距離に亘る鐵道に依つて各中央工場へと搬入さるるに到り、砂糖業は巨大なる固定資本を要する典型的機械産業となつた。而して糖業者は今や所得の一部を割いて、最新式の機械の購入その他栽培及び製糖上の諸改良に充當すべき準備金となし、以て不況に善處せんとするに到つた。大資本の必要は、從來富裕なる個人及び同族の事業たりし製糖業をば、會社組織に依る大規模企業へと轉ぜしむる傾向を齎らした。

かくて米國資本の大量的に投下せらるべき基礎が出来た譯である。栽培者に前貸せる米國商人は、不況のため借金を返済し得ざる彼等の手から土地を取上げた。又米國の資本家は極めて低廉な價格で玖馬の土地を買取ることが出来た。ボストンの砂糖商アトキンス、西印度貿易商ケリー、

6) H. Paasche, Zuckerindustrie und Zuckerhandel der Welt, 1891, S. 217.

7) H. Geerligs, The World's Cane Sugar Industry Past and Present, 1912, p. 37.

紐育の砂糖商リオンダー族等は、廣大なる土地を掌中に收めし商人が最初より大資本と多數の勞働者とを以て製糖業を始めた此期の代表者である。而して各栽培地の中央に位する米國式工場が、その機械生産と大規模經營のシステムに依つて、玖馬に於ける製糖業革命の進行上に多大の影響を及ぼせしことは言ふを俟たない。

砂糖業以外への投資としては、一八八七年頃より米國の鋼板工業の發展するに伴ひ玖馬のクローム・マンガン・ニッケル礦がカーネギー及びベスレーム會社の支配下なる諸會社に依つて採掘せられた。その他若干の煙草栽培及び小商工企業も經營されたが、要するに米西戰爭以前に於ては砂糖業と鑛山業の外見るに足るものはなかつた。鐵道業にては英國の勢力強く、他の企業も多くは西班牙人の掌中に在り、米國資本の活動領域は著しく局限されてゐた。

然るに米國の武力占領並びに玖馬の獨立は米國資本の量及び活動領域を大ならしめた。米國の軍政始まりし一八九八年及び九九年には、數千の企業計劃者がハバナ市に蝟集して低廉なる土地を手に入れんとし、米人による玖馬土地購入は急激に増加した。九八年には「米國精糖會社」所謂「砂糖トラスト」が玖馬に工場を設けてゐるが、これは投資者が「會社の會社」たる點に於て、糖業投資上の一發展を示す注目すべき事實である。鐵道・電信・電話・電車等の諸事業も米國資本を以て經營され始め、米國の資本家によつて設立せられし玖馬國立銀行は最初の商業銀行として重要な役割を演じた。かくて、軍政施行前の投資額五千萬弗は一九〇二年には既に八千萬弗に達し

た。⁹⁾

爾來世界大戰の勃發迄に米國の對玖馬投資は二億弗餘に増加したが、その間には、前述の如く、米國の景氣變動と玖馬の政治情勢とに應じて變動が見られる。例へば玖馬獨立後の政情安定と一九〇三年の對米互惠條約以後には米國資本の流入夥しく、之と反對に一九〇六年乃至九年には紐育の恐慌及び玖馬の内亂のため投資振はず、その後米國の景氣回復と玖馬政情の安定とは再び投資の増大を齎らした。¹⁰⁾

以上述べ來りしが如く、此期に於て米國資本の輸出は前時期に比し一段の進展を示した。だが

(弗萬百)高在現資投馬玖對の國米										年
										一九〇九年 ¹¹⁾
砂糖及煙草	鐵道	土地	農業	銀行業	海運業	擔保貸附	雜計	合計	合	
六八	三四	一八	四	五	一・五	三・五	七・〇	一四一・〇	二〇五	
精糖工場							公益事業	公債持分	礦山・商工業	
五〇	二五	一五	一〇	五	五	二〇	二〇	三〇	二五	
									計	二〇五

										一九一一年 ¹²⁾
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------

次期と對比するときは猶低度の發展段階に留まつてゐた。第一に、それは未だ産業のあらゆる分野を支配するに到らなかつた。砂糖業以外への投資が未だ多からざるのみならず、(上表參照)その砂糖業に於ても米國資本は歐洲及び玖馬の資本と鼎立の状態に在つたに過ぎぬ。¹³⁾ 玖馬に對する投資總額に於ては英國と伯仲の間に在るも、増加の割合に於ては英國に及ばなかつた。¹⁴⁾

9) この額は當時既に多大の金額と考へられた。Chapman, A History of Cuban Republic, 1927, p. 610.

10) Cf. Jenks, ibid., p. 161.

11) 玖馬商務省の推定 Dunn, ibid., p. 120.

12) 在玖馬米國總領事ロツヂヤースの推定 Jenks, ibid., p. 165.

13) 工場數に於て25%前後、生産額に於て三分の一(但し1910年以後は35%へ)を占めてゐた。Cf. Geerligs, ibid., pp. 174, 175.

第二に、米國金融資本の勢力が比較的強大でなかつた。投資の擴張は經營者自身の資金又は銀行よりの借受金を以て行はれ、證券の發行によつて紐育金融市場と直接に關係することはなかつた。¹⁵⁾公債への投資に於ても、一九〇四年及び九年のスバイヤー公債發行に際し、主たる資金提供者は寧ろ倫敦であつた。¹⁶⁾米國資本家の設立せる玖馬國立銀行も、後には經營の實權を玖馬人の手に奪はれるといふ有様であつた。故に歐洲大戰以前の投資は主として工業資本的なものと見るべきであらう。但し此の時期に於ても金融的支配への礎石は着々として築かれてゐた。一九〇五年以來ナショナルシチーを盟主とするシンデケートがハバナ銀行を支配せしこと、一九一二年玖馬信託會社がモルガン商會の代理者となりしこと、一九一四年ナショナルシチー銀行が自身の營業所をハバナに開設せしこと、等々の事實はこの過程を物語るものである。

ハ) 歐洲大戰以後

右に述べし二つの限界は歐洲大戰の勃發以後全く消滅した。歐洲諸國が戰費及び復興資金の調達に汲々とする間に米國が一大資本輸出國となるに及んで、(1)米國の資本は玖馬の砂糖業のみならずその産業の諸部門に互つて全面的に侵入し、各部門に於て支配的な勢力を獲得した。(2)更にそれら輸出せられし資本に對する米國金融資本の支配が極めて強力となつて來た。これら二つの重要事實を中心として、此期に於ける投資の發展を觀よう。¹⁷⁾

右の第一の事實を物語る者は、各年度現在の投資高を示す次の數字である。

14) M. Winkler, *ibid.*, p. 280; Jenks, *ibid.*, p. 164.

15) Cf. C. Jones, *Caribbean Backgrounds and Prospects*, 1931, p. 292.

16) Jenks, *ibid.*, p. 164.

17) インゴールの數字に1927年度在玖馬商業會議所の數字を追加す。公債を除く。Dunn, *ibid.*, p. 120.

年次	砂糖栽培地 及び工場	鐵道	鑛山	その他 (公益事業商 業工業等)	計
一九一六	三〇〇	四五	二七・五	二七・五	四〇〇
一九二〇	三七五	六五	二〇	六五	五二五
一九二四	七五〇	一一〇	三五	三五五	一二五〇
一九二七	八〇〇	一二〇	三五	四四〇	一、三九五

砂糖業投資も増加したが、他の諸部門への投資は一層急激なる増加を示した。¹⁸⁾

先づ砂糖業に就いて觀れば、大戰中及び直後に歐洲の甜菜糖生産の減退が玖馬糖業に一大ブームを招來するに及んで、米國の資本は續々と流入した。米國の精糖業者は玖馬人西班牙人等より工場及び栽培地を買收して之を改良擴張し、又は新工場の設立・新栽培地の開發のために巨額の資本を投じた。¹⁹⁾又米國の酒造會社・菓子製造會社・各種飲料製造會社等の砂糖消費者は、各々自己の製糖工場を玖馬内地に設立して原料の確保に努めた。その後局面一變、一九二〇—二一年の恐慌以後玖馬糖が過剰生産と糖價下落に悩むに及んで、此度は他の形式に於て、即ち缺損と負債に苦しむ工場主及び地主——(その多くは玖馬人並びに西班牙人)——より米國資本家の手への所有權移轉なる形式に於て米國資本が流入した。而して後者が産業合理化の名の下に生産設備の改良擴張に努めしことは、——(一九二六年以來の砂糖の生産過剰はこゝに原因を持つ)——その勢力を一層擴大せしめたのである。かくて米國人經營の工場は、全玖馬工場の中、數に於て大戰前の二割五分より一九二七年の四割三分を、生産高に於ては大戰前の三割五分より一九二〇年の四割八分四厘、二三年に

18) 砂糖業以外の投資高總計は1916年に糖業投資の三分の一であつたが、24年には三分の二となり、27年には更にそれ以上となつてゐる。

19) Cf. Ann. Amer. Acad., 1916, p. 175.

20) 玖馬人との協同經營に係る工場を考慮に入れば、此の割合は更に大となる。

は六割三分五厘、二七年には六割二分五厘を占むるに到つた。²⁰⁾

他の産業部門に於ても一九二〇—二一年の恐慌以後米國資本の流入が甚しくなつた。電力業に於ては「電氣證券會社」が一九二一年その支店を通じて多くの玖馬人會社の利權・財産の買収にかゝり、二三年末には既に八〇以上の市町村に電氣・瓦斯・上水を供給し、現在に於ては玖馬に於ける主要都市及び工業中心地の全部に電燈・電力・電氣器具を供給してゐる。——しかも米國內同業者の夢想すらし得ざる高率の料金と價格に於て。²¹⁾ 電話に於ては「國際電信電話會社」の一支店がハバナ及び九四の市町村をを持ち、殆んど全嶋に亙る獨占を保持してゐる。電車業の支配者「ハバナ電鐵會社」の資本の半分は米國資本の占むる所、ハバナ港の主要なる船渠を持つ二會社は、ボストン及びニューヨークの資本家の所有又は參與に係るものである。鐵道業に於ては、一九二四年の合同により成立せし「玖馬合同鐵道會社」が英國資本と並んで二大鐵道系を形成し、且つタラファ法案に依り主要なる砂糖產出地方を通ずる獨占を握つてゐる。²²⁾ 鑛山業を觀れば、「ベスレヘム鋼鐵會社」²³⁾「ユー・エス・スチール會社」等が廣大なる地域を所有し、玖馬の鐵礦產出額の八割五分を占めてゐる。玖馬のニッケル及びマンガン礦は全然ベスレヘム會社の掌中に在るが上に、銅に於ても唯一の會社は一九二二年以後その株の大部分を玖馬人の手より「米國金屬會社」へ移讓するの止む無きに到つた。その他石油業に於ては「スタンダード・オイル」及び「シンクレア・オイル」、煙草業にては「玖馬煙草會社」、果實に關しては「ユナイテッド・フルーツ會社」がそれぞれ

Jenks, *ibid.*, pp. 281, 284. Dunn, *ibid.*, p. 123.

21) Department of Overseas Trade, *Economic Conditions in Cuba*, 1929, p. 25.
The Nation, April 19, 1933.

22) Dunn, *ibid.*, p. 127.

23) Jenks, *ibid.*, p. 292.

支配的勢力を揮ひ、保險業に於ても米國金融團の壓迫のもとに企業家の保險は英國より米國の會社へ移されつゝある。²⁴⁾更に玖馬を米國のモンテカルロ化せんが爲の土地購入も著しく増加せしが上に、新聞・肉罐詰・化學工業・醸造業・セメント業等々へも多額の資本が投下された。

世界大戰以後の投資に於ける今一つの顯著なる現象は金融資本の進出である。大戰前にも米國金融業者が徐々に地歩を固めつゝありしことは既に述べたが、大戰中及び直後の繁榮期に彼等は砂糖業及びそれへの金融の利益を追うて益々進出した。マーカンタイル銀行・チエースナショナル銀行等は新に支店を開設し、ナショナルシチー銀行は盛に支店を各地に増設した。一九一五年の末紐育の砂糖コンツェルン「リオンダ家」を中心とするシンデケートが工場の買収に努め、これに要する資金五千萬弗を株式市場に於て募集したが、これ玖馬の砂糖が紐育金融市場の投機的利益の對象となりし最初である。²⁵⁾一九二〇年糖價が大崩落を演ずるや、玖馬に於ける殆んど全部の工場は破滅に瀕し或者は遂に破産し、他の者は債權者たる諸銀行に經營を讓渡した。又此の恐慌により西班牙系諸銀行の倒産續出せしが故に金融の實權は益々米國銀行の手に移つた。かくて例へばナショナルシチー銀行は一九二一年夏に五〇乃至六〇の工場を獲得し、支社に依つてこれらを經營した。紐育金融市場に於ては米國諸銀行の支配下に來りし諸工場を近代化せんが爲に投資團が組織せられ、一九二一及び二二の兩年間に六千七百萬弗に上る證券が玖馬の諸砂糖會社の爲に發行された。²⁶⁾今や玖馬の砂糖業に「銀行に支配せらるる會社、銀行の助言を受くる投資團の時期」

24) Department of Overseas Trade, *ibid.*, p. 9.

25) Jenks, *ibid.*, p. 180.

26) Jenks, *ibid.*, p. 282.

(ジエックス)が到來したのである。現在、米人經營の大製糖會社は、「ナショナルシチー」を始め「リオンダ」「チエースナショナル」「ギャランチャー・トラスト」「ハイデン・ストーン」「セリグマン」等の金融業者によつて支配せられ、比較的小なる工場も事實上その全部が十五の銀行或は仲買商によつて支配せられてゐる。²⁷⁾

A B C 結社の主張に依れば、砂糖業は玖馬國內に經濟的國家を形成し、事實上無制限の勢力を揮ひ、玖馬人の多數を自己の規則に従はしめる。二百に充たざる砂糖のツェントラールが五五〇萬エーカー以上の砂糖地を支配してゐる。一の米國人會社の如きは約六七萬エーカーを支配する。この所有地の中に會社は法律を作り、私用道路・私用港灣を所有し、自治體を支配する。「若し此の過程にして間斷なく發展するならば、玖馬は、西印度黑人の住民と無氣力なる土著人官吏とウオール街より命令を受くる政府とその獨立のシンボルたる國旗とを有する一大砂糖栽培地と化するであらう」。²⁸⁾

「チエース・ナショナル」「ギャランチャー・トラスト」等の銀行——(最近「ナショナル・シチー」も)——はモルガン商會の支配下に在る。砂糖業以外にても、「電氣證券會社」を支配する「ジエネラル・エレクトリック」「國際電信電話會社」「合同鐵道」「シンクレア・オイル」「ユー・エス・スチール」「ユー・エス・フルーツ」等の諸會社が總て直接或は間接にモルガンの麾下に在ることを思へば、玖馬の重要産業に於けるモルガンの勢力の偉大なることを知るに足る。ロックフェラーも亦「スタンダード・オイル」「ナショナル・シチー」「ユー・エス・工業酒精」等を通じて玖馬の事業に關係してゐる。²⁹⁾

更に注目すべきは、玖馬政府への貸附といふ形式に於ける米國金融資本の流入が甚しくなつた

27) Ibid., p. 288.

28) The Nation, May 3, 1933.

ことである。一九一四年・二三年・二七年には夫々一千萬弗・五千萬弗・九百萬弗のモルガン公債が發行せられ、後に述ぶるが如く、最近にはチエースナショナルを盟主とする米國銀行團に依る貸附が夥しい金額に上つた。

斯くして玖馬の産業・金融・財政に對する米國資本の大勢力が確立された。その絶對額のみを見るも、最近に於て十一億弗乃至十五億弗と推定せられ、玖馬に於ける外國資本の約九割を占むるに到つた。²⁹⁾ 玖馬への投資は米國の對外投資中獨逸及び加奈陀に次いで第三位を占め、羅典亞米利加諸國の中では墨西哥を凌駕して第一位となつた。³⁰⁾

大戰後に於ける米國資本の壓制的支配を觀てマニヤーチは云ふ、「大戰後玖馬國民は經濟的には奴隸となつた。彼等が植民地時代に占めし地位は逆となつた、——今や玖馬人は國旗と官廳を有する。併し富は他國人の掌中に歸した」。³¹⁾ 同じくハーリングの言、「政府の仕事が増加するにつれて玖馬の經濟狀態は益々悪くなつた。政治家は外國人より借款を得、それによつて玖馬を益々隸屬狀態に陥し入れた。金融的には玖馬はウォール街の附屬物となつた。米國の銀行・米國の公益事業財閥・米國の砂糖業財閥が支配者となつた」。³²⁾

以上の如き投資の發展は、それに照應する政治形態及び觀念諸形態を欲する。玖馬の急速なる亞米利加化に就いては此處に述べないが、³³⁾ 玖馬の政治外交史は、如何に米國資本が贈賄・内政干涉・關稅政策等々直接間接のあらゆる手段方法に依つて他の外國資本の排除と自らの勢力扶植に努めたかに關する豊富な例證を提供する。³⁴⁾ それ等は枚舉に遑無き爲省略するも、注意深き觀察者は、今回の騒亂に於ても種々の常套的手段に依つて米國資本の擁護が行はれつゝあることを看取

29) Commercial and Financial Chronicle, Jan. 21, 1928.

30) U. S. Department of Commerce, *ibid.*, pp. 15, 16. H. Collings, *Die Kapitalexpansion der Vereinigten Staaten in Lateinamerika*, 1927, S. 8.

31) F. Manāch, *Revolution in Cuba*, Foreign Affairs, Oct. 1933.

32) The Nation, May 3, 1933.

33) Cf. J. Normano, *The Struggle for South America*, 1930, p. 176 ff. 「寄生的

するであらう。

三、玖馬の經濟上に及ぼせし影響

前項に於て米國の對玖馬投資の發展過程を考察した。次にそれが玖馬の經濟的構造に如何なる影響を及ぼしたかに就いて觀よう。

(1) 近代的無產階級の増大 資本家的經營の侵入以前には、玖馬農村の各所に多數の「インヘニオ」と稱せらるる人々が散在し、栽培地所有者と工場所有者とを一身に兼ね、奴隸勞働を用ひて甘蔗栽培及び粗糖生産を行つてゐた。即ち當時の生産關係の根本的標徴は土地所有と奴隸勞働との對立であつた。

然るに機械生産特に米國式大量生産の侵入は右の状態を變じて、資本家對自由勞働者及び小作人の關係を優勢たらしめた。機械生産は奴隸よりも自由勞働者の使用を有利とした。何となれば後者の勞働能率大なることが賃銀支拂の犠牲を償つて餘りありしが故である。従つて一八八〇年の奴隸解放令以後從來の奴隸は續々と賃銀勞働者に轉化し、既に一八八四年には解放直後に於ける勞働力缺乏は完全に消滅して、人々は奴隸解放を目して「維持し難き過去との有益なる絶縁」とするに到つた。³⁵⁾その後砂糖業の隆盛に伴ひハイチ及びジャマイカ島の黒人・支那人苦力等も契約勞働者として輸入せられた。又他の諸産業の勃興につれて、西班牙及び伊太利よりの移民が製糖

經濟は奴隸的文化を産む」これ ABC 結社の標語である。玖馬の指導者、勞働者、法律家等が精神的奴隸の状態に陥つた點については Cf. The Nation, May 3, 1933.

- 34) Cf. Nearing & Freeman, Dollar Diplomacy, 1925. Ch. VI; Chapman, ibid.; Jenks, ibid.; P. Moon, Imperialism and World Politics, 1927, Ch. XVI; B. Williams, Economic Foreign Policy of the United States, 1929; Ann.

工場・建築業・公益事業・鑛山業等に入込み、主として都會の工業労働者のグループを形成した。

資本家に隷屬する小作農の形成に就いては、奴隷より轉化せし者の外に、彼の「インヘニオ」の没落せし者を擧げねばならぬ。以下これらの「インヘニオ」が大量生産の侵入により生産手段所有者たるの資格を剝奪されゆきし過程を觀よう。先づ彼等の手より工場が取上げられた。大量生産をなす工場との競争に敗れし彼等は自己の工場を閉鎖して、ヨリ大なる資本と能率とを持つ少數の「ツェントラール」に通ずる鐵道に依つてその栽培せし甘蔗の束を賣込むに到つた。その結果工場の數は急速に減少し、始め一、四〇〇在りしものが一八八二年には既に一、〇〇〇となり、八六年には四〇〇、獨立戰爭後は一七五乃至二〇〇となつた。³⁶⁾工場を失ひ栽培を專業とする所謂「コロノ」となりし彼等の手より更に土地が取上げられた。大量生産をなす工場は收穫の増加を求め新しき栽培地を欲して止まざるが故に、好景氣時には土地所有者を喜ばしむる價格にて土地を買取り、不況時には負債を支拂ひ得ざる彼等より抵當たる土地を沒收した。

「かくの如く大土地所有は、抵抗し得ざる壓倒的な力により強制せられて、絶えず自己を造り出し、自己を擴張し、その機械を改良し、收穫を増進し、その飽くなき土地獲得欲を以て新しき土地を求める、——それが不可避的且つ致命的に當國の可耕地全部を占領する迄は。」³⁷⁾又玖馬の著名なる歴史家にして且つ復古運動の領袖たるゲーラ教授は、かゝる趨勢の招く結果について云ふ、「砂糖の大土地所有は、最良の土地の莫大なる面積をば(約四〇%)少數の——恐らく五〇に達せざる——個人或は會社の手に集中する。而してその必然的且つ不可避的結果として中小所有地を攻撃し破壊する。……その支配する地方にては、それはバルバドス島のそれの如く單純なる社會を造り出す、——高級又は下級の會社使用人達と一週毎に支拂はる小額の賃銀を受取る労働者達と。」³⁸⁾

Amer. Acad. Vol. 144, etc.

35) Paasche, *ibid.*, p. 14.

36) Paasche, *ibid.*, p. 211; Jenks, *ibid.*, p. 31.

37) Normano, *ibid.*, p. 184.

38) *Ibid.*, p. 184.

工場を失ひ土地を失ひし「インヘニオ」は、自己の勞働力のみを有する「コロノ」として、或は比較的富裕なる「コロノ」に雇傭せらるる賃銀勞働者として、農村に於ける無産階級の一部を構成するに到つた。³⁹⁾栽培業者がその生産物全部を會社に引渡し一定の報酬を生産物或は貨幣にて受くる所謂「コロノ」制は急速に普及して、既に一八八七年には玖馬の收穫全體の三割五分乃至四割が此制度の下に生産せられ、今日では約九割迄が生産せられてゐる。⁴⁰⁾「コロノ」の中には自己の土地の所有者もあり、又後に述ぶるが如き資本企業家的なる者も居るが、大部分は負債並びに小作契約により會社に隸屬する貧農である。

米西戰爭以來玖馬に居住せる一米國人は、二十數年來の玖馬の經濟的變化をジェンクスの爲に次の如く要約した。「廿五年前には玖馬農民は、食料及び住居に要する物の大部分を生産し、且つ米及び布と交換し得べき餘剩物をも産出せし小面積の土地に分散してゐた。大規模なる砂糖業の到來は完全に彼の世界を一變した。彼は今や一大工業企業の一部たり、彼の賃銀をそれより受取り、且つ住居の供給をも受ける。それは彼を近代工業進歩の奔流の只中に置いた。しかも彼は教育と休養とパンとをそれに仰がざるを得ない。彼は、好むと好まざるとに拘はらず、無智たりとも善良且つ單純なる生活をば、外國の一大巨像への巨屬と交換してしまつた。彼の將來は彼自身のものに非ず。それは紐育に於ける重役室の中で決定されるのである。」⁴¹⁾

以上の如き無産階級の増大は當然無産階級運動の勃興を伴つたが、特に歐洲人勞働者の流入は彼等の自覺を高むるに貢獻し、勞働組合主義・サンデカリズム・社會主義・共產主義等の思想は夫々彼等の間に勢力を扶植した。玖馬の勞働者が罷業に訴ふること多きは有名にして、大戰後の繁榮期には度々の罷業に多く成功し、その後にも特に二四年秋の砂糖業罷業は收穫期を控へ

39) 砂糖業勞働者數約四〇萬に對して「コロノ」の數は今日約四萬五千人とみられてゐる。Comm. & Fin. Chron. Jan., 14, 1928; International Labour Review, Sept. 1929.

40) Jenks, *ibid.*, p. 33; Wirtschaftsdienst, Oktober, 1931.

41) Jenks, *ibid.*, p. 310. Cf. *ibid.*, p. 341.

し危険性の故に玖馬全島を震駭せしめた。⁴²⁾

(□) 土着資本家の擡頭 先進國の資本輸出は一面に於て後進國の産業勃興を刺戟し、遅かれ早かれ自己に敵對する要素を造り出す。玖馬に於ては此法則は、大戰以後に於ける土着資本の擡頭として表れた。

元來玖馬には富裕なる地主より成る投資階級あり、且つ玖馬人は西班牙人に似て金融・商業方面に才能を有するが故に、投資は早くよりかなり進歩し、英米獨佛等の證券・國內にては都會の不動産に多額の投資が行はれてゐた。唯國內に於ける自國人企業の不振がその方面への投資を妨げてゐたが、大戰前には自國企業に對する不信の念も次第に消えつゝあつた。外國資本家の手中に在りし「玖馬國立銀行」及び「ハバナ電鐵」が後玖馬人の手に歸せしことは、所謂「資本の自國化」傾向の萌芽を示すと云へるであらう。

然るに大戰を機とせる繁榮期の到來は、玖馬人の土地及び證券投資を一層増大せしめしのみならず、玖馬人の中より資本家を輩出せしめた。土着資本家は先づブームに依り一躍成金となりし「コロノ」が工場及び土地を購入して自ら企業に着手することより發生した。一九一八年迄に新設又は復舊されたる工場三九の中二五は玖馬人の手に依るものであつた。⁴³⁾ 他方、經濟界の大變動は從來怠惰と政治熱の裡に暮し居たる玖馬の若き知識階級の注意を經濟問題に轉ぜしめ、進んで經濟界に身を投ずるに到らしめた。

42) Chapman, *ibid.*, p. 629.

43) Jenks, *ibid.*, p. 178.

「玖馬人は經濟的イニシアテイヴと企業心とを有する。而して金融事業に對しても同じ才能と關心とを示した。玖馬人の主要或は專一的なる關心事はもはや政治ではない。」⁴⁴⁾

玖馬人經營の砂糖工場は、規模の點に於て米國人のそれに劣ると雖も、各工場生産高の合計に於ては最近は後者を凌駕するに到つた。⁴⁵⁾ 砂糖業以外に於ても、マチャード政府の國產保護政策と相俟つて工業用酒精・セメント・石鹼・麥酒・菓子・皮革・燐寸・木造家具等の産業が勃興して來た。一九二七年の保護關稅の效果は間もなく現れて、その後三〇年迄に外國品の輸入は、靴八割、被服類八割、石鹼七割、香水六割八分、染料七割麥酒六割の減退を示した。⁴⁶⁾

かくの如き土着資本の擡頭はそれに照應する政治を欲する。從來見られたる家族的個人的權力の爲の政治は、漸く資本主義經濟的政治へ轉向する勢を見せた。一九一九年には二二の「ツェントラール」を有する土地所有者及び「コロノス」の協會が組織せられ、爾來それは玖馬人砂糖業者の代表機關として活躍した。一九二三年頃より「汎米主義」の聲に代つて「ベリグロ・ヤンキー」の叫びが揚り、國民主義の唱導及び運動が益々熾んとなるにつれて、米國の銀行及び會社に對する反感は愈々高まつた。タラファの鐵道合同案に對する猛烈なる反對運動⁴⁷⁾の如きはその一例であるが、玖馬下院に於ても一連の國民主義的諸法案が提出せられた。一の法案は玖馬に於ける總ての銀行取締役の三分の二が玖馬人たるべきこと、且つその會計を嚴重に監査し公表すべきことを要求した。他の法案は公益事業諸會社の利潤を制限し・且つ彼等をして玖馬國籍なる銀行に預金せしむ

44) Normano, *ibid.*, p. 189.

45) 日本砂糖協會、砂糖年鑑、玖馬之部、昭和五、六、七、八年。

46) J. Hunter, *The South American Handbook*, 1929, p. 308; Department of Overseas Trade, *Economic Conditions in Cuba*, 1932, p. 14.

47) この案の性質その他に就いては Nearing & Freeman, *ibid.*, p. 191 ff.

べく強制することを提議した。又玖馬の官廳をしてガソリンの代りに國產の酒精を使用せしむること、總ての會社をして玖馬に住所を持ち帳簿を置かしむること、玖馬の富の吸收せらるる原因を研究する委員會を設くること、等も提案せられた。而して國民間の反米・愛國熱は、國際聯盟の一員としての玖馬の地位向上せること、一九二三年春クラウダー將軍より玖馬行政の實權を奪還せること、二五年パイン島が玖馬領土と決定せられ米國に併合の野心無しと見えたること、等の理由に依り一層熾烈となつた。

(ハ)經濟的植民地化

米國の糖業會社が總て米國流に「ビッグ・セントラル」の政策を採り、大量生産に依つて生産費を低むるに努めしことは前述の如くである。その爲には當然大量の甘蔗を必要とするが故に、彼等は自己所有の土地を擴張せしのみならず、栽培者をして能ふ限り多くの甘蔗を提供せしむる手段を講じた。サンチャゴ博士の報告に依れば、甘蔗栽培者は會社との契約に依り甘蔗以外の物を栽培し得ざるのみならず、家禽類・牛・羊・馬すらも飼養し得ず、バター・チーズ等の畜産物を造ることをも得ない。⁴⁸⁾

斯くの如き手段に依つて玖馬砂糖產額増進の目的は達成せられた。一八九九年には瓜哇が玖馬の二倍半を生産し居たるに、一九二四年には反對に玖馬が瓜哇の二倍半を生産するに到り、⁴⁹⁾玖馬は今や工場數に於て、一工場當り平均年產額に於て、從つて年產總額に於て世界最大なる「世界の砂糖壺」⁵⁰⁾となつた。

48) Commercial & Financial Chronicle, January 14, 1928.

49) F. Maxwell, Economic Aspects of Cane Sugar Production, 1927, p. 103.

50) Ibid., p. 104.

併し此の發展の裏面に於て玖馬經濟は益々單一栽培に偏し、その全經濟が砂糖業の如何に依つて左右さるるに到つた。砂糖業は玖馬の全生産高の八割、輸出總額の八割を占め、全國民所得の八割を齎らし、玖馬總人口の六割以上に生活の資を與へる。

會社から「コロノ」に對してなされる支拂は、所謂「プロメデオ制」に基き、組育に於ける砂糖相場を基準として算定される。「コロノ」は會社より得たる收入の中より自己の雇傭する勞働者に賃銀を支拂ふ。故に我々はこゝに人口の最大部分の購買力が一生産物の價格如何に依つて決定さるゝ典型的なる事例を見る。

従つて玖馬經濟は、その砂糖の八割乃至九割を消費し・輸出總額の七割乃至八割を吸収する米國に依存する。又生活必需品を多く輸入に仰ぐが故に、その最大供給者たる米國に依存する。米國が好景氣の時は玖馬も好況に在る(例へば大戰中及びその直後)が、米國が不況に沈む時は玖馬も不況に陥るのである。(例へば一九二〇年以後及び最近)

單一栽培・經濟的植民地化に固有の危險は、競争品の出現及び競争國の進出に在る。玖馬は既に大戰後歐洲の甜菜糖生産の復興に脅かされたが、更に最近には合衆國領土に於ける甘蔗糖生産の發展に依つて苦境に陥るに到つた。合衆國の消費する砂糖の最近に於ける供給狀態は次の如し。(單位百萬封度)⁵¹⁾

年次	甜菜糖	ルイジアナ	フィリッピン	布哇	ポルトリコ	國內供給總計	玖馬	總供給に於ける玖馬の割合
一九二三	一、三八〇	五九〇	四七六	一、〇三八	六八八	四、一七二	六、八〇三	五九・九
一九二六	一、八〇二	二七九	七六一	一、四九四	一、一三〇	五、四六七	八、二四一	六〇・〇

一九二九	二、一九五	三一八	一、三六六	一、七八八	一、〇三九	六、七〇六	六、八三六	五〇・三
一九三二	二、五〇〇	四六〇	二、〇九〇	二、〇五〇	一、八一〇	九、〇三〇	三、八三九	二九・八

玖馬は今や合衆國への砂糖供給に於ける往年の獨占的地位を喪失した。他方に於て玖馬の購買力減退は合衆國商品に對する市場としての玖馬の價値を低下せしめた。米國商品の販賣市場としての玖馬を他の米國領砂糖產地と比較すれば左の如し。(單位百萬弗)⁵²⁾

年次	玖馬	フィリッピン	ポルトリコ	布哇	玖馬の割合%
一九二〇	五一五	一〇〇	一二一	七四	六三・五
一九二三	一九二	四九	七八	六六	四九・八
一九二六	一六〇	六九	八五	七六	四一・〇
一九二九	一二九	八五	七六	八三	三四・五
一九三二	二九	四五	四九	五八	一六・〇

右の如き重心移動は、米國政府をして寧ろ自國內領土の糖業者の聲に耳を傾けしむるてふ結果を生んだ。(例へば玖馬糖に對する最近の關稅引上・輸入制限) 此の態度變化を端的に表現せるは次の如きシュトルツの言である。

「時日と現實崩壊とは、永い間米國人の空想の裡にて玖馬を包み居りし感傷的な空氣を一掃した。大なる同胞の感情は今や現實的な政策に置き代へられた。事實に於て合衆國は玖馬人に對して、リトワニヤ、或はリベリヤに對するより以上の「好意」を持つてゐない。合衆國は、玖馬が米國の政治の目的に貢獻し、米國のビジネスと競争せざる限りに於てのみ玖馬の友人である。米國の態度を是以外の動機に歸するは偽善であらう、——玖馬人にとつては、是以外の動機を臆斷する

は自己僞瞞であらう⁵³⁾。

斯かる危険を感じし玖馬が自國産業の振興と多種化に努めて未だ多くの効果を擧げ得ざる裡に今日の世界恐慌の襲來に遭つた。

四、世界恐慌と玖馬

前二項に於て我々は歐洲大戰以來玖馬に於て、第一に米國資本、第二に玖馬の土着資本、第三に玖馬の無產階級、なる三勢力が相並んで強大となり來れる事實を觀た。これら三者間の角逐は、各々の勢力の増大するにつれて愈々烈しさを加へる。米國資本の支配に抗爭する努力に於て玖馬資本家と無產階級とは目的を同じうし、無產階級對資本家の關係に於ては米國資本と玖馬資本とは利害共通し、玖馬資本の擡頭を抑へんが爲には米國資本が玖馬無產階級を利用することもあり得る。

是等以外に猶獨立戰爭に活躍せし家族の出身者多き職業的政治家、羅典亞米利加型の舊式政治家を嫌惡し、愛國の理想のみより運動する學生及び知識階級⁵⁴⁾、(例へば玖馬國立大學生を中心とするABC結社、但しその指導者の中には若干のコミニストも居る)西班牙の惡政に對する古き反感を米國に向くる愛國的軍人等が登場して玖馬の政局を複雑ならしめる。

玖馬政府は孰れかと云へば土着資本の利益を代表する。併し玖馬經濟の現狀としては、米國資本に敵對することは不可能である。一九二五年以來のマチャード政府の統治は、此の事實をよく示してゐる。大統領マチャードは、嘗て米國の擁立せる大統領に叛逆せしゴメツ政府の閣僚であつ

53) Ibid., October, 1932, p. 373.

54) ABC結社及び學生は玖馬の眞の自治を求め、經濟的政治的廓清運動をなす。彼等は經濟的には大所有地の奪還、小農の定住、國立證券銀行、貯蓄銀行等農業銀行、農業組合、鐵道及び公用企業の國有、近代的社會立法の創立等を提唱する。政治的その他綱領に就いては Cf. The Nation, May 3, 1933.

た。このことが玖馬の土着資本家及び愛國者達の支持を得たる理由である。しかも他面彼は退職後ジェネラル・エレクトロリック會社の玖馬マネージャーを勤めて營業擴張に手腕を見せ、立候補に當つては米國の諸會社より莫大なる選舉費——一會社の如きは五十萬弗——を受領せりと云ふ。⁵⁵⁾これ彼が米國資本家の支持を得る所以である。かくて彼は前例なき一般的人望を荷つて大統領に就任した。彼は一方に於て一連の國民主義的政策を實行した。彼は從來の解釋に於けるプラット修正法をば死文となし、内政干渉を意味せざるものとすることを國民に誓約した。又米國資本が國內の糖業を併呑する傾向に對抗するため、砂糖生産割當に於て外國會社よりも玖馬の糖業者を好遇した。歐洲諸國とも互惠條約を結んで米國への依存を脱せんとし、保護關稅に依つて玖馬産業の育成に努めた。その他或は大幹線道路を造り、或は遊覽客の誘致に努め、又は産業の多種化の奨励に力を注いだ。斯くの如く國民主義的政策を採り乍ら、彼は又他面に於て米國資本に迎合することを忘れない。例へばプラット修正法を廢止せずしてその「修正」のみを望み、「外債絶無」を高唱し乍ら多額の事實上の外債を契約し、玖馬の土地所有者達がモラトリウムと利子引下を陳情せるに容易に耳を傾けず、米國資本家の立案せる砂糖制限案に同意せし等の事實は此のことを證明する。

チャップマンは現在の玖馬の政治を評して云ふ、「實際、現在の狀態は、反米的なる政治家階級が祖國の膏血を絞るべき權力をば合衆國政府より與へられてゐるといふ奇異なる變態を呈してゐる」⁵⁶⁾と。此の政治的譏は米國資本と玖馬土着資本の並

55) Jenks, *ibid.*, p. 311.

56) Chapman, *ibid.*, p. 653.

立共存といふ經濟的基礎の反映として見るとき始めて氷解する。

土着資本及び米國資本の擁護者なる點に於て、マチャード政府は元來無產階級及び愛國運動者の敵であつた。彼は勞働組合を懷柔すると共に社會主義者やコミュニストに壓迫を加へ、西班牙系の勞働運動者を捕へて極刑に處した。かのロンバルド法案⁵⁷⁾が決して實施せられざるは、マチャード政府が本質的には「玖馬の實業家階級のみに盡さんとする實業家的政府」⁵⁸⁾であつて勞働者の味方に非ざるが故である。又彼は米國資本と結托せる舊型政治家を排斥する愛國運動の彈壓に力を注ぎ、大學の自治を破壊し、言論出版を封鎖し、ABC結社の彈壓に於て遂に玖馬を流血の巷と化する恐怖政治を行つた。

最近の世界恐慌は右の如き被抑壓者の不滿を増大せしめしは勿論、更に玖馬の土着資本をも政府より離反せしむるに到つた。世界恐慌下の玖馬の經濟狀態を一瞥すれば、先づ勞働者の賃銀は次の如く下落した。⁵⁹⁾

年次	砂糖業(弗)		煙草業		他種の勞働			
	甘蔗取人	工場職工	葉卷製造熟練工	他の賃仕事工	屋外勞働者	塗工	沖積仕	荷車挽 機械工
一九二九	一・六〇	二・〇〇	三八五—五・五〇	二・二五—三・〇〇	一・五〇	三・〇〇	三・〇〇	二・五〇 三・五〇
一九三二	〇・五〇	〇・八〇	三・五〇—五・〇〇	二・二〇—二・七五	〇・八〇	一・五〇	二・五〇	二・〇〇 二・二五

砂糖業勞働者の賃銀下落が最も甚しいが、しかも彼等は十二月より四月迄の乾燥期に雇傭される

57) 玖馬に於ける企業の使用勞働者の少くとも七割五分を玖馬人たらしめんとするもの。
 58) Jenks. *ibid.* p. 274.
 59) Department of Overseas Trade, *ibid.*, p. 34.

のみである。生計費は著しく高きが上に、勞働時間は工場では休憩なくして十二時間である。⁶⁰⁾
「コロノ」も決して良い状態には居ない。

「大戰以來砂糖は世界市場に於て最低價格——通常生産費以下の數字——に留まつた。所有地は閉鎖され、財産は我國民の經濟的安定を害するが如き煩繁さを以て所有者を變へた。成程若干の栽培者は産業の常道以外の諸原因、例へば個人的犧牲、債權者の寛容等の原因に依り今日迄生き延びて來た。併し次の如く云ふも誇張ではあるまい。——現在砂糖業に従事せる四萬五千人の中三分の二は貧乏と窮迫の生活を送りつゝあり、彼等の纏ふ衣服及び恐らく仕事道具以上には持物を殆んど持たない」と。⁶¹⁾

此の状態が一九二八年始であるから、それ以後の状態も想像することが出來よう。工場の數も一九二九年の一六三より三一年には一三二に、三二年には一二三に減じ、作業せる工場は三〇年及び三一年に生産費より一割五分低き價格にて生産物を賣らねばならなかつた。⁶²⁾砂糖業以外に於ても僅少の例外を除いては、多數の工場は缺損を續け、或者は事業を止め、他の者は無期休業をする有様である。⁶³⁾

右の如き玖馬經濟の窮狀は、二つの主要なる方面に於て米國資本特にその最近の形態なる金融資本の活動を促がし、その結果として玖馬の無産階級及び資本家と米國資本家との溝渠を益々深めた。その一は砂糖の生産制限他は玖馬政府への貸附である。

玖馬の砂糖業に多大の投資をなせる米國銀行家の立場よりせば、玖馬に於ける工場及び栽培地の倒壊・荒廢は、利子は勿論投下資本の全き損失を招くが故に、これらを回復せしめ辨濟能力あ

60) Labour in the Cuban Sugar Industry, International Labour Review, Sept. 1929. 筆者は玖馬の農務省移植民勞働課長。

61) Commercial & Financial Chronicle, Jan. 14, 1928. 猶負債の支拂不能に依る所有權移轉については Cf. Ibid.; Oct. 24, 1931; Wirtschaftsdienst, Mai, 1927.

62) Department of Overseas Trade, ibid., p. 9.

らしむるやう努めねばならぬ。此の目的は砂糖の生産過剰・糖價の低落を拱手傍觀するのみでは達成せられない。故に米國銀行はマチャード大統領をして、一九三一年五月砂糖の生産高を制限する所謂「チャドボーン制限案」に同意せしめた。

この發案者たるトーマス・チャドボーンは、玖馬糖業への投資二百五十萬弗を有する米國人である。此案の成立は彼の率ゐる米國人糖業者の一團が之を頑強に主張せるに基づく。「従つて本協定は政府の發案と見るを得ず、玖馬政府は砂糖全生産の八割を代表する糖業者が大統領に宛てたる陳情書に基づき、書面に要求ありたる協力を與へたるに止まる」⁶³⁾。

然るに砂糖生産の制限は、小工場主並びに栽培業者にとつては、彼等の唯一の生計手段の造出を縮減さるることを意味し、又工場及び屋外勞働者にとつては勞働機會の減少・飢餓賃銀の一層の低落を意味する。此の故に彼等は嘗て一九二六年以來のタラファ制限案を廢棄せしめたのである。従つてチャドボーン制限案の不公平に對する不滿の念は彼等及び精糖業者・商人達の間に強くなり、一九三一年八月の叛亂、三二年十二月に於ける甘蔗栽培者の暴動等となつて爆發した。

米國資本の活動の第二は玖馬政府への貸附である。玖馬の不況はマチャード政府の關稅及び租稅收入を著しく減少せしめたが故に、マチャード政府は當初の外債反對の誓約にも拘はらず資金の供給を米國銀行家に仰ぐに到つた。眞の「外債」的性質を陰蔽すべく政府は種々の手段を弄してはゐるが、モルガンのチェースナショナル銀行或はこれを盟主とする米國銀行團との間に、一九二六年末に一千萬弗、二七年に九百萬弗、二八年に六千萬弗、三〇年には總計八千萬弗の巨額、三

63) Ibid., p. 15.

64) 外務省通商局、海外經濟事情、第六年第卅一號。

一年にはチャドボーン案實行費四千萬弗の大部分、三三年には二千二百萬弗、の公債或はクレヂットの契約が締結された。⁶⁵⁾

これら以外に尙三一年二月モルガンを主とする銀行團が三億弗の貸附を締議しつゝあることを米國下院に於てマクファアードン氏が攻撃してゐる。モルガン系銀行會社の玖馬に於ける權益より見れば此の巨額も不可能事には非ざるも、モルガンの頑強なる否定もあり、眞偽不明である。⁶⁶⁾

玖馬の如き小國としては實に巨額の外債である。之に對する償還は屢々繰延べとなりしも、利拂のみは正確に行はれ、その重荷は總て玖馬國民の肩に懸つた。⁶⁷⁾ 關稅は高められ、貸銀・事業收益その他に關する新稅が設けられ、諸種の直接稅間接稅は引上げられ、數千の官吏は減首せられ、殘る者も三割以上の減俸と俸給不拂の憂目に遇つた。かくて不況と重稅とに悩む國民のマチャード政府に對する不満は益々強くなつた。昨年七月十七日政府の増稅及び新稅賦課計劃に反對してハバナ全市の商店が戸を鎖し罷市に依る大規模の政府反對示威運動を行ひし事は玖馬の形勢を益々險惡ならしめた。⁶⁸⁾

「事實に於てマチャードは、我國の大會社の金融的支持に依り、玖馬國民の明白なる意嚮に逆らつて現職に維持せられ來つた。一人當り債務負擔に於て他のあらゆる羅典亞米利加諸國よりも重壓を受けし玖馬は、其姉妹諸國と異り、叛亂することも債務不履行を行ふことをも得なかつた。チェース銀行による五千萬弗の貸附無かりせば、マチャードは疑も無く一九三〇年に打倒せられたであらう。俸給の充分なる給與を受ける彼の効果的な軍隊は、繼續的な人民暴動を不可能ならしめた。」⁶⁹⁾「マチャードは自由なる玖馬國民の代表者に非ずして、米國の金融諸侯の行政官である。其施設が此國に於て信任せられず、差迫りし峻嚴なる刑罰に當面する權力者その人が平伏せる玖馬國民の上に支障なく意志を遂行することは實に皮肉なる變態である。」

65) Commercial & Financial Chronicle, 1927, 28, 29, 30, 31, 32.

66) New York Times, Feb. 14, 1931.

67) 玖馬の歲入見積四千二百萬弗の中約一千二百萬弗は外債に對する支拂に充てられた。The Nation, Aug. 30, 1933.

68) 外務省情報部、國際事情376

69) The Nation, April 19, 1933; この外ネーション誌はマチャードと米國金融

斯くの如く、世界恐慌はマチャード政府をして益々米國資本の側に加擔せしめ、玖馬の無産階級及び資本家の不満を愈々増大せしめた。此の一般的不満を鋭敏に感受する學生及び知識階級と米國銀行よりの借款に依つて俸給支拂を受くるマチャード麾下の軍隊との衝突は愈々烈しさを加へた。昨年八月二日、労働條件の改善を求むるハバナ電鐵従業員の罷業は遂に各種労働團體の總罷業を誘發し、學生・ABC結社・軍隊が之と協力するに及んで、これ以上マチャードを存續せしむることが自らの不利を招くを悟りし米國資本は彼をセスベデスと交替せしめた。⁷⁰⁾ それ以後の經過は新聞雜誌の報導に依つて何人も知悉する處である。

以上我々は玖馬に於ける米國資本の生活史を略述した。之に依つて觀れば、米國資本は世界恐慌でふ動機因に依つて爆發すべき作用因をば漸次玖馬の中に造り上げて來たのである。世界恐慌の重壓そのものが今回の騒亂の眞の原因ではない。——眞の原因は、世界恐慌の重壓が敵對的不公平に配分されるといふ事情そのものである。

久しく玖馬を支配し來りし米國資本も今や、第一に玖馬資本家、第二に玖馬の無産階級、第三に米國の砂糖生産領土の資本家、といふ三つの主要勢力の包圍攻撃の裡に立つて、從來の地位を失はんとするが如き危機に當面し、種々の手段に依つて之が打開に努めてゐる。之に似た事態は今後遅かれ早かれ玖馬以外の羅典亞米利加諸國にも發生するであらう。此の意味に於て我々は現在の玖馬擾亂の推移を注意深く觀察すべきである。

70) 資本家との結託を常に鋭く攻撃してゐる。May 3; Aug. 23, 1933. 此の交替に當つて米國大使が重要な役割を演ぜしことは、マニヤーチが數條の事實を擧げて論證してゐる。F. Manách, Revolution in Cuba, Foreign Affairs, October, 1933.